


山行報告書

山行報告提出者：鈴木

| | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 山名：唐松岳 2,696m | | (長野県北安曇野郡白馬村) | |
| 入山日：2019年12月21日(土)～22日(日) (1泊2日、車中1泊) | | | |
| プラン担当者 正：鈴木 副： | | 朝日に燦然と輝く剣岳(唐松岳山頂より) | |
| 参加者 | L：鈴木 報：記： (単独行) |  | |
| | 男 1名、女 名、計 1名 | | |
| 12月21日：晴れ 風10m/hほど 12月22日：薄曇りのち晴れ | | | |
| 12月20日 (金) | 新宿発夜行バスにて白馬八方へ | | |
| 12月21日 (土) | 06：40 八方着、ゴンドラ、リフト(2本) 乗り継ぎ 八方池山荘着-09：00 山行開始-10：30 八方池-12：00 丸山- 13：30 唐松頂上山荘(小屋脇でテント泊) 行動：4h30h | | |
| 12月22日 (日) | 05：30 起床-07：00 山行開始-07：30 唐松岳-08：00 頂上山荘 (テント撤収)-9：30 丸山-10：30 八方池-11：10 八方池山荘着、リフト・ゴ ンドラ利用し12：00 八方ターミナル着 バスでJR長野駅経由新幹線で大宮まで 行動：4h10m | | |
| 荒天候時のエスケープルート：テント泊中止し八方池山荘泊、または日帰り下山。 | | | |
| 装備と食糧 | 共同装備：共同食：無し | | |
| | 個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、テント(冬用外帳)、シュラフ、 マット、ピッケル、アイゼン、ストック、ゴーグル、バラクラバ、グローブ (含インナー)、ワカン、スコップ、スノーソー、携帯トイレ、テルモス、 寒冷ガス一式 個人食：4食 プラス 行動食 | | |
| 感想 | 八方のゴンドラ乗場には全く雪はなかったが上がるにつれ白くなり始め下り口では銀世界となった。終点からの登りは雪も締まり歩きやすかったが、見えるはずの白馬三山や鹿島の山頂がガスにかかり眺望はいまいち、もくもくと歩を進めた。 大バーンのトラバースでは雪崩に注意しながら通過したりしたが、何とか疲労困憊しながら頂上小屋にたどり着いた。風が弱そうな場所にテント設営したが、風に舞い散る雪がテントを覆いつくし、翌朝雪掻きに難儀した。雪掻き後唐松岳頂上に立つと、ちょうど朝日が剣岳を照らし始め、前日の疲れを一掃する眺望を目の当たりにした。下山は左に白馬三山、右に五竜・鹿島の頂を携えながらの王様気分の下りとなり、満足感にどっぷり浸りながら無人の下りリフトに乗車した。 | | |